年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：（１～３組：沼田、４組：山崎、５組：沼田、６～８組：山崎）

使用教科書：（ 大修館書店「新編　論理国語」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な語彙や漢字など、国語の知識や技能を身に着けている。	他者と伝え合う中で創造的・論理的に自分の考えを広げたり深めたりする。	論理的・批判的に考える力を付けるために読書に親しみ、自己を向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A ウサギの耳はなぜ長い？ ・具体と抽象の関係をもとに、一般的な論理を筋道立てて考える力を養う。	・意味段落の構成上の意味を考える。 ・文章の要点を把握する。	○	○	○	【知・技】 ・具体例の役割について理解を深めている。 【思・判・表】 ・内容や構成を的確に捉えている。 【主体的態度】 ・自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた取り組みを行う。	○	○	○	6
	B「論理的な人」とはどういう人か ・「論理」について筆者の考えを読み解き、論理的に文章を構成する。	・言葉の働きについて理解を深める。 ・関連する資料で裏付けを取る。	○	○	○	【知・技】 ・語彙の働きを理解している。 【思・判・表】 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主体的態度】 ・論理的な文章を批評する活動を通し進んで言葉の働きについて理解を深めている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 対話の精神 ・資料から教訓を得る。	・文章の構造や展開の仕方を理解する。 ・文章の要点を理解し、解釈を深める。	○	○	○	【知・技】 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思・判・表】 ・必要な情報を関連付けて自分の考えを深めている。 【主体的態度】 ・自分の考えを論述する活動を通して、進んで自己についての理解を深めている	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	○		1
2学期	D 情報化と紙の本のゆくえ ・ナショナリズムの背後にあるものを考える。	・論理の展開を意識する。 ・批判的に検討する。	○	○	○	【知・技】 ・情報と情報の関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して内容を解釈している。 【主体的態度】 ・論理的な文章を批判的に検討している。	○	○	○	7
	E おじいさんのランプ F 紙の本はなくならない ・紙の本と電子の本の役割について考える。	・仮説を検証する。 ・多角的に検討する。	○	○	○	【知・技】 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 【思・判・表】 ・文章の構成や表現の仕方について、書き手の意図との関係において評価している。 【主体的態度】 ・論理的な文章を評価する活動を通して、進んで推論について理解を深めている。	○	○	○	7
	定期考査	定期考査		○	○		○	○		1
	G 「考える葦」であり続ける	・論理の展開を理解する。 ・考えを形成し記述する。	○	○	○	【知・技】 ・情報を整理する方法について理解を深める。 【思・判・表】 ・自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的態度】 ・主張が的確に伝わる文章を書いている。	○	○	○	7
	H 「人口の自然」	・論理の構成を理解する。 ・文章の内容と自己の思考を戦わせる。	○	○	○	【知・技】 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思・判・表】 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を進めている。 【主体的態度】 ・自分の考えを論述する活動を通し進んで情報の関係について理解を深めている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		○	○		1
3学期	H 問題演習	・表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える。 ・考えを形成し記述する。	○	○	○	【知・技】 ・言葉の働きについて理解している。 【思・判・表】 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理している。 【主体的態度】 ・積極的に語彙を習得している。	○	○	○	11

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　国語　　科目 古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　8 組 文系

教科担当者：（１・２組：小西、３・４組a：沼田、３・４組b：小西、５組：小西、６組：沼田、７・８組：沼田）

使用教科書：（ 大修館書店　「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
の伝統的な言語文化に対する理解を深め、言葉がもつ価値を認識できる。	論理的に考える力や想像力を伸ばし、自分の考えを広げたり深めたりできる。	古典に親しみ、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 宇治拾遺物語　検非違使忠明のこと ・説話のおもしろさに親しみ、仏教説話の特徴や当時の仏教への人々の考え方を読み取る。	・用言、助動詞の意味や用法を理解する。 ・登場人物の心理と行動を理解する。 ・今昔物語集との比較を通して、差異に気が付く。	○	○	○	【知・技】 ・用言の活用を理解し、品詞分解をすることができる。 【思・判・表】 ・物語の展開を的確に捉え、場面情景を説明することができる。 【主体的態度】 ・説話のおもしろさに親しみ、平安期の人々の生き方や考え方などを理解している。	○	○	○	6
	B 十訓抄　大江山いくのの道 ・和歌による心情表現を理解し、平安期の人々の生活や考え方などを理解する。	・和歌の修辞技巧を理解する。 ・登場人物の行為の意味を考え、話し合いをする。	○	○	○	【知・技】 ・言葉の意味や和歌の修辞技巧などの表現の特色について理解を深めている。 【思・判・表】 ・登場人物の行動の意図を考察し、理解を深めている。 【主体的態度】 ・和歌による心情表現、平安期の人々の生き方や考え方などの学習から平安時代に興味を持っている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 徒然草　花は盛りに ・筆者のものの見方をもとに、「美しさ」の定義について考える。	・反語表現を理解する。 ・時代背景をもとに、現代と当時の「見る」ことへの意識の差を考える。	○	○	○	【知・技】 ・文章の種類と特徴について理解を深めている。 【思・判・表】 ・書き手の考えや目的を捉え内容を解釈している。 【主体的態度】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。	○	○	○	6
	D　更級日記　源氏の五十余巻 ・日記作品の特徴をおさえ、平安時代の文化と筆者の考え方を比較する。	・日記に描かれる当時の女性の慣習やそれに反した筆者の考え方を読み解く。 ・日記に出てくる筆者の心情を探し、心情の推移を理解する。				【知・技】 ・文章の種類と特徴について理解を深めている。 【思・判・表】 ・書き手の考えや意図を捉え内容を解釈している。 【主体的態度】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。				7
	定期考査			○	○		○	○		1
2学期	E 源氏物語　若紫 ・和歌の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。	・更級日記の学習を思い出し、当時の人々の源氏物語の受け取られ方を理解する。 ・和歌の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・敬語における敬意の方向を確認しながら、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	○	○	○	【知・技】 ・敬語の用法について理解を深めている。 【思・判・表】 ・平安時代の人々の生活や慣習について理解を深める。 【主体的態度】 ・源氏物語の基礎知識をもとに、人物について考察を深めている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		○	○		1
	F　史記　鴻門の会 ・漢文での物語を読み解き、武将の描かれ方を感じ取る。	・漢文の学習について復習し、基本的な読解の仕方から再読文字や句法について理解する。 ・登場人物の立ち位置や状況を考え、その意図を理解している。	○	○	○	【知・技】 ・我が国の文化の特質や、中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・文章の種類を踏まえ構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的態度】 ・作品特有の語彙や語法について理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		○	○		1
3学期	G 平家物語　能登殿最期 ・戦乱の世に生きる人々の生きざまや心情を読み取る。	・『平家物語』特有の語彙や語法について理解する。 ・武士の最期を読み取り、世に翻弄された人々や無常観の考え方を理解する。	○	○	○	【知・技】 ・平家物語の中に出てくる武士と武士の関係をとらえ、理解する。 【思・判・表】 ・登場人物の立場や状況を考え、発言や行動の意図を理解している。 【主体的態度】 ・本文のリズムや表現の特徴に気が付き、古文に親しもうとしている。	○	○	○	9
	H 義経記　静の白拍子 ・平家物語と比較し、視点の違いによる描かれ方の違いを理解する。	・同じ時代に生きる武士でない人物たちの状況を読み取る。	○	○	○	【知・技】 ・語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえている。 【主体的態度】 ・静の置かれた状況をもとに心情を説明できている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
									合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和7年度（2学年用）　教科　　数学　　科目　　数学Ⅱ(文系)

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ(文系)　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　１～８　　組

教科担当者：（１・２組文系、４組文系、７・８組文系：田草川）（３組文系、５組、６組：岩城）

使用教科書：（ 高等学校「数学Ⅱ」数研出版　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学Ⅱ(文系)　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第1章【式と証明】 【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解している。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 3次式の展開と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式とその計算 恒等式 等式の証明 不等式の照明	【知識・技能】 多項式の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 多項式の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	B 第2章【複素数と方程式】 【知識及び技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理 高次方程式	【知識・技能】 方程式の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 方程式の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	20
	C 第3章【図形と方程式】 【知識及び技能】 座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形と方程式の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用している。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 直線の関係 円の方程式 円と直線	【知識・技能】 図形と方程式の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 図形と方程式の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形と方程式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1

2学期	D 第4章【三角関数】 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 加法定理 加法定理の応用	【知識・技能】 三角関数の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 三角関数の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	E 第5章【指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとしている。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数	【知識・技能】 指数・対数の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 指数・対数の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数と対数関数の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	F 第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとしている。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用 不定積分 定積分	【知識・技能】 微分法と積分法の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 微分法と積分法の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分法と席部法の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計 140

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　　数学　　科目　　数学Ⅱ(理系)

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ(理系)　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　1　2　3　4 組

教科担当者：（理系：北川）

使用教科書：（ 高等学校「数学Ⅱ」数研出版　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 数学リテラシーを身に付ける．計算問題が解ける．

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。応用問題が解ける．

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける．発展的な問題に取り組める．

科目　数学Ⅱ(理系)　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する．また，これらの原理・法則を	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章【式と証明】 【知識及び技能】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解しようとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 3次式の展開と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式とその計算 恒等式 等式の証明 不等式の証明	【知識・技能】 多項式の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 多項式の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	第2章【複素数と方程式】 【知識及び技能】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 複素数についての理解を深め，方程式を解こうとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理 高次方程式	【知識・技能】 方程式の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 方程式の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	20
	第3章【図形と方程式】 【知識及び技能】 座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形と方程式の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 直線の関係 円の方程式 円と直線	【知識・技能】 図形と方程式の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 図形と方程式の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形と方程式の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
2学期	第4章【三角関数】 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張して，計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できる。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 三角関数の応用 加法定理 加法定理の応用	【知識・技能】 三角関数の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 三角関数の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角関数の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	第5章【指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 指数関数・対数関数を事象の考察に活用しようとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・1人１台端末の活用 ・指導項目 指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数 常用対数	【知識・技能】 指数・対数の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 指数・対数の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数関数と対数関数の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3学期	第6章【微分法と積分法】 【知識及び技能】 微分・積分の意味について理解し，それらの有用性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 微分・積分の有用性を認識するとともに，事象の考察に活用しようとする。	・教科書　高等学校「数学Ⅱ」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 関数の増減と極大・極小 関数の増減・グラフの応用 不定積分 定積分 定積分と面積	【知識・技能】 微分法と積分法の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 微分法と積分法の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分法と席部法の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和7年度（2学年用）　教科　　数学　　科目　数学B

教　科：　数学　　科　目：　数学B　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1,2,3,4,7,8　組

教科担当者：（北川）

使用教科書：（ 高等学校　「数学B」数研出版　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目　数学B　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章【数列】 A第１節　等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的な数列として等差数列を理解し，それらの和を求められる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書　高等学校「数学B」数研出版 指導項目 　数列と一般項 　等差数列 　等比数列の和 　和の記号	【知識・技能】 　等差数列の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 　等差数列の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　等差数列の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	9
	定期テスト			○	○		1
	第1章【数列】 B 第１節　等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的な数列として等比数列を理解し，それらの和を求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書　高等学校「数学B」数研出版 指導項目 　階差数列	【知識・技能】 　等比数列の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 　等比数列の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　等比数列の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	9
	定期テスト			○	○		1
2学期	C 第２節　いろいろな数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列和の記号Σの表し方や性質を理解し，活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】いろいろな数列について，その一般項や和を求めたり，和から一般項を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書　高等学校「数学B」数研出版 ・指導項目 　漸化式 　群数列 　いろいろな数列の和	【知識・技能】 　Σ記号の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 　Σ記号の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　Σ記号の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	9
	定期テスト			○	○		1
	D 第２節　いろいろな数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列和の記号Σの表し方や性質を理解し，活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】いろいろな数列について，その一般項や和を求めたり，和から一般項を求めたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養っている。	・教科書　高等学校「数学B」数研出版 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 　数学的帰納法	【知識・技能】 　階差数列の計算の基本が理解できる。 【思考・判断・表現】 　階差数列の計算の表記方法を正しく理解し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　階差数列の計算を利用し、様々な問題を解くことができる。	○	○	○	9
	定期テスト			○	○		1
	第2章　統計的な推測 C　母集団と標本 【知識及び技能】 　標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し，正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 　大数の法則について理解し，標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　大数の法則に興味をもち，標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を，コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 　母集団と標本 　標本平均の分布	【知識・技能】 　標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し，正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 　大数の法則について理解し，標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　大数の法則に興味をもち，標本の大きさnが大きくなるときの分布曲線の変化を，コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。	○	○	○	6

3学期	第2章　統計的な推測 D　推定、仮説検定 【知識及び技能】 　仮説検定の考え方を用いて，日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 　仮説検定の考え方がわかる。片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち，現実の問題の解決に役立てようとする。	・教科書 ・一人１台端末の活用 ・指導項目 　推定 　仮説検定	【知識・技能】 　仮説検定の考え方を用いて，日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【思考・判断・表現】 　仮説検定の考え方がわかる。片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 　仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち，現実の問題の解決に役立てようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　地歴　　科目　日本史探究

教　科：　地歴　　科　目：　日本史探究　　単位数：　3　　単位

対象学年組：第　2　学年　1～8　　組

教科担当者：（　1～8組：増田　）

使用教科書：（　山川出版社　『詳説日本史』　　）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　日本史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　〔日本文化のあけぼの〕 自然環境の変化が人びとの生活に与えた影響と適応、文化の形成を多面的・多角的に考察する。 B　〔古墳とヤマト政権〕 大陸との関係の中で国内の統一と整備が進んだことを理解する。	◆日本列島における自然環境の変化や朝鮮半島・中国大陸との関係、狩猟採集社会から農耕社会への移り変わりなどに着目して、旧石器時代から縄文文化、さらに弥生文化への変化がどのように起こったのかを考察する。 ◆朝鮮半島・中国大陸との関係に着目してヤマト政権による国家形成のありようを考察する。 ◆東アジアの国際的緊張の中で推古朝を中心に中央集権国家形成を目指す政策を進めたことを理解する。	【知識・技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 ・水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ・中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し仮説を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	C　〔律令国家への形成〕 律令にもとづく国内政治体制について理解する。 D　〔貴族政治の展開〕 大陸文化の消化と我が国独自の展開について政治・文化・経済面から考察する。	◆隋や唐などの中国王朝との関係と、日本の政治や文化への影響などに着目して、東アジアの情勢と政治や文化との関係、律令体制の成立過程などについて、前時代とのつながりや事象の推移・展開を考察する。 ◆東アジアとの関係の変化や地方社会の変化、文化との関係などに着目して、摂関政治の成立やそれ以前との政治の在り方の違いなどについて、推移や展開を考察する。	【知識・技能】 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 ・天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追求しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2学期	E　〔院政と武士の躍進〕 古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 F　〔武家政権の成立〕 武家政権の成立過程と特徴を武士の生活と土地支配をふまえ理解する。	◆国内における権力主体の変化や東アジアとの関わりなどに着目して、院政期や平氏政権における政治および東国や奥州の動向などから武士の台頭とその背景、宋との交易などについて考察する。 ◆軍事政権である鎌倉幕府が御家人との封建的主従関係で成り立っていることを理解し、公武二元体制や幕府の貴族的性格に着目して、鎌倉時代初期の支配の在り方を考察する。	【知識・技能】 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 【思考・判断・表現】 ・武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ・幕府と朝廷との二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追求しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	F　〔武家政権の成立〕 武家政権の成長と衰退の過程を考察し、公家との関係の変化、モンゴル襲来の影響など多角的に理解する。 G　〔武家社会の成長〕 武家社会の変容や東アジアの国際情勢の変化を理解する。	◆将軍独裁体制から合議制、さらに北条氏が権力を掌握する過程を理解し、幕府構造の変化を考察する。 ◆鎌倉時代の武士の生活を理解し、地頭による荘園侵略について、幕府・荘園領主・地頭の関係の中で考察する。 ◆東アジアの大きな動きの中でモンゴル襲来をとらえ、これを契機に幕府勢力が西国に浸透したことを理解する。 ◆鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移を考察する。	【知識・技能】 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・南北朝の動乱などに見られる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について多角的に考察している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	G　〔武家社会の成長〕 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことをふまえ、幕府の動揺や下剋上の風潮を理解する。	◆畿内中心に惣村と呼ばれる自治的村落が展開した背景や経緯を理解する。 ◆室町時代の社会経済を、農業・手工業・流通・商業・貨幣経済の相互連関の中で理解する。 ◆守護大名の権限強化の背景と国人一揆の形成を考察する。 ◆応仁の乱の背景と経過に着目し、支配層の分裂・弱体化と京都の荒廃を理解する。 ◆下剋上の風潮と戦国大名の分国経営のあり方を考察する。 ◆国際的な交易や外来の技術・思想に対し、我が国がどのように対応したのか考察する。	【知識・技能】 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して、村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ・経済の進展や各地の都市や村の発展、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 ・守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して、前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
						合計	105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　地歴　科目 世界史探究

教　科： 地歴　　科　目： 世界史探究　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年　1,2,3,4,7,8 組

教科担当者：（ 1,2,3,4,7,8組：山下 ）

使用教科書：（ 実教出版　『世界史探究』 ）

教科　地歴　　の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界史の基礎的知識を身に付け、日常生活の中で見られる事象と関連付けることができる。	歴史的知識を使い、多角的・多面的に考察する力を身に付ける。また、考察身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することができる。	人類が直面している世界的な課題について、よりよい社会の実現のために主体的に調査し、自分事として考えを構築する姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 文明の成立と古代文明の特質 ◆自然環境と人々の関係を視点にして、人類が地域ごとに多様な生活を育んできたことを理解し文明の功罪について探究させる。	◆文明の成立と古代文明の特質 （文明の誕生、古代オリエント文明とその周辺、南アジアの古代文明、南北アメリカ文明）	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 各地の文明の共通点と相違点を理解し、文明が環境に与えた影響を自分の言葉で説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	17
	B 中央ユーラシアと東アジア世界、南アジア世界と東南アジア世界の展開 ◆各地の国家・社会、文化の特徴を比較して、その共通点や相違点を理解する。 ◆現代まで残る宗教の成立と展開の過程を理解し、「宗教がもつ影響力」について探究させる。	◆中央ユーラシアと東アジア世界 ◆南アジア世界と東南アジア世界の展開	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 宗教の成立過程と展開を理解した上で、「宗教がもつ影響力」について自分の言葉で表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	C 西アジアと地中海周辺の国家形成 ◆古代イラン・ギリシア・ローマの政治体制を踏まえて、望ましい政治体制について探究させる。	◆西アジアと地中海周辺の国家形成 （イラン諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア世界、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展）	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 古代世界における「専制主義」と「民主主義」の問題点を理解した上で、自分の意見を表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	17
	D イスラームの成立とヨーロッパ社会の形成、ヨーロッパ世界の変容と展開 ◆「キリスト教とイスラーム教は仲が悪い、といういう言説は正しいのか？」	◆イスラームの成立とヨーロッパ社会の形成 ◆ヨーロッパ世界の変容と展開	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 イスラーム世界とキリスト教世界の成り立ちを理解し、「キリスト教とイスラーム教は仲が悪い、といういう言説は正しいのか？」という問いについて自分の考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

2学期	E 東アジアの展開とモンゴル帝国 ◆「世界の一体化（グローバル化）」がどのように進展したのかを理解し、その功罪を探究させる。	◆東アジアの展開とモンゴル帝国 ◆大交易・大交流の時代 ◆アジア諸帝国の繁栄	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の歴史的意義を理解した上で、「世界の一体化（グローバル化）」の功罪について自分の考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	20
	F 産業革命と環大西洋革命 ◆産業革命と環大西洋革命が世界に与えた影響を探究し、どのように世界が変化したのかを表現させる。	◆産業革命と環大西洋革命 ◆イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ◆アジア諸地域の動揺 ◆帝国主義とアジアの民族運動	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】産業革命と環大西洋革命が世界に与えた影響を探究し、どのように世界が変化したのかを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	G 第一次世界大戦と第二次世界大戦 ◆「国民国家」の形成がもたらした「排外主義」について理解し、「国民として１つにまとまること」の功罪自分の考えを表現できる。	◆第一次世界大戦と社会の変容 ◆第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 「国民として１つにまとまること」の功罪について自分の考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3学期	H 冷戦と今日の世界 ◆現代の社会情勢が形成された過程を理解し、地球社会の課題を探究させる。	◆冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺 ◆冷戦の終結と今日の世界	【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 「わたしたちは科学技術の進歩にどこまで責任を持つべきかについて自分の考えを表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	26
	◆現代の社会情勢が形成された過程を理解した上で、地球社会の課題を探究させる。		【知識・技能】 基本的な知識が身に付いている。 【思考・判断・表現】 学んだ知識を活用しながら、自ら問いを立てて地球社会の課題について探究することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事実を自分事としてとらえ、現代の諸課題に置き換えて思考することができている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画　新様式例

高等学校　令和７年度（２学年用）　教科　　公民　　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　　単位

対象学年組：第 2　学年　1　組～　8　組

教科担当者：（　1～8組：林　）

使用教科書：（ 帝国書院　高等学校　公共　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生きる公民として，相互に尊重し，協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A【青年期と社会参画】 青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき，社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付く，みずからのキャリア形成について理解させる。	・公共的な空間と人間との関わり ・青年期とその課題 ・個人の尊厳と自主・自律 ・人間と社会の多様性と共通性 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・技能】 みずからの体験などを振り返ることを通して，みずからを成長させる人間としてのあり方・生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	B【宗教・思想・伝統文化と社会】 私たちが生きる社会を形成する伝統や文化，宗教，古来の日本人の考え方などを理解し，自分の意見を表現することを通じてみずからの価値観や他者の価値観について理解させる。	・宗教の教え ・日本の思想 ・日本の伝統と文化 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・技能】 人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して，みずからの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	C【倫理的な見方・考え方】 ・さまざまな思想を理解し、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などついて理解させる。	・古代ギリシャの思想 ・古代中国の思想 ・近代西洋の思想 ・現代の思想 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 選択・判断の手がかりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，みずからも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	5
	D【社会の基本原理と憲法の考え方】 ・人間の尊厳と平等，個人の権利，協働の利益と社会の安定等の大切さ，公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解させる。	・近代立憲主義の原理と広がり ・日本国憲法と個人の権利 ・人権保障 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理について，日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2学期	E【民主社会と政治参加】 ・政治の意義や統治機構のしくみ，よりよい社会を構成するための取り組みについて，自分の意見を表現することを通じて，政治参加と公正な世論の形成，地方自治等について理解させる。	・議院内閣制と国会 ・地方自治の役割 ・政党政治 ・選挙制度とその課題 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	F【法の意義と司法参加】 ・法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき，身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し，みずからの意見や主張を表現することを通じて，法の意義や司法参加について理解させる。	・社会規範と法 ・消費者の権利と責任 ・契約の考え方 ・司法の役割 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 法や規範の意義および役割，多様な契約および消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きにのっとり，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義および役割，多様な契約および消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	G【市場経済のしくみ】 ・希少な資源を効率的に配分する市場メカニズム，市場経済の機能と限界，金融の動き，財政および租税の役割について理解させる。	・市場経済のしくみ ・企業の目的と役割 ・金融の役割 ・政府の役割と財政の機能 ・日本の財政の課題 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 市場経済の機能と限界，金融の働き，財政および租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界，金融の働き，財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	H【豊かな社会の実現】 ・変化する産業構造と労働のあり方，社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき，国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解させる。	・産業構造の変化 ・中小企業 ・労働者の権利 ・社会保障の役割と意義 ・社会保障制度の課題 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること，およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

3学期	I 【国際政治の動向と平和の追求】 ・国家主権，領土,我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。	・国家と国際法 ・日本の主権と領土 ・日本の安全保障 ・国際連合の役割と活動 ・核兵器と軍縮の課題 ・国際協力と日本の役割	【知識・理解】 国家主権，領土（領海，領空を含む），日本の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家主権，領土（領海，領空を含む），日本の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	8
	J 【国際経済の動向と格差の是正】 ・グローバル化の進展により経済活動が世界的な規模で行われていることに対する正確な理解に基づき，貧困や格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて，経済のグローバル化と相互依存の深まり，国際社会のおける貧困や格差の問題などについて理解させる	・国際経済のしくみ ・国際経済の枠組み ・グローバル化と自由貿易協定 ・経済格差の是正 ○教材 教科書、プリント、PC	【知識・理解】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること，およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　理科　　科目 化学

教　科： 理科　　科　目： 化学　　単位数： 3 単位

対象学年組：第　2 学年　1組２組３組４組７組８組

教科担当者：（ 1組２組３組４組７組８組：向坪　 ）

使用教科書：（ 「化学」啓林館　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目　化学　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質や物質現象 についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質や物質が変化する現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた 結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。□ □	物質や物質が変化する現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 第１節　化学結合と結晶 ･化学結合とそれぞれの性質，及び結晶構造を理解させる。 B 第２節　結晶の構造 ・結晶の構造を理解させる。	自由電子，金属結合，イオン結合，共有結合，分子，配位結合，極性分子，無極性分子，結晶，単位格子，配位数，金属結晶，イオン結晶，分子結晶，共有結合結晶 体心立方格子，面心立方格子，六方最密構造，最密構造，充填率，ファンデルワールス力，水素結合，分子間力	【知識・技能】 化学結合の種類と，それぞれの性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 結晶の構造(体心立方格子，面心立方格子，六方最密構造など)について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	17
	C 第３節　アモルファス(非晶質) ・アモルファスの性質を理解させる。 D 第１節　状態変化 ･状態変化に伴うエネルギーの出入りを学び，物質の沸点，融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解させる。	アモルファス，非晶質 熱運動，融解熱，蒸発熱，昇華熱，凝縮熱，凝固点，凝固熱，過冷却	【知識・技能】 アモルファス・ｴﾈﾙｷﾞｰの性質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 アモルファス・ｴﾈﾙｷﾞｰの性質について振り返って，日常生活や社会に生かそうとする。。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	E 第２節　気体の状態方程式 ･気体定数と状態方程式，分子量の関係を理解させる。 F 第１節　溶解と溶解度 ･溶解の仕組みを理解させること。また，溶解度を溶解平衡と関連づけて理解させる。	気体定数，気体の状態方程式，全圧，分圧，分圧の法則，モル分率，理想気体，実在気体 溶解，溶媒，溶質，溶液，水溶液，極性溶媒，無極性溶媒，水和，水和イオン，親水基，疎水基（親油基）	【知識・技能】 気体の体積の変化・溶液について理解することができる。 【思考・判断・表現】 溶液の性質や気体の体積と圧力や温度との関係や，ボイル・シャルルの法則について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	17
	G 第２節　希薄溶液の性質 ･身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解させる。 H 第３節　コロイド ･コロイド溶液の性質を理解させる。	飽和溶液，溶解平衡，溶解度，水和物，水和水，結晶水，無水物，無水塩，再結晶，過飽和，ヘンリーの法則，質量パーセント濃度,質量モル濃度 コロイド粒子，コロイド，コロイド溶液（ゾル），ゲル，キセロゲル，分散質，分散媒，分子コロイド，ミセル，会合コロイド（ミセルコロイド），分散コロイド，懸濁液，乳濁液，チンダル現象，ブラウン運動，透析，電気泳動，疎水コロイド，凝析，親水コロイド，塩析，凝集，保護コロイド	【知識・技能】 希薄溶液の性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 身近な現象を通して溶媒と溶液の性質(蒸気圧降下，沸点上昇，凝固点降下，浸透圧など)の違いについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

2学期	I 第１節　反応エンタルピーとエンタルピー ・化学反応における熱の発生や吸収は，反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。 J 第２節　ヘスの法則 ・物質が変化するとき出入りする熱量(反応エンタルピー)は，最初と最後の状態だけで決まり，反応経路には無関係であることを理解させる。	温度,熱，熱量，熱容量，比熱，反応エンタルピー，エンタルピー変化ΔH，エンタルピーH，系，外界，エネルギー図，発熱反応，吸熱反応，反応エンタルピー〔kj/mol〕 ヘスの法則，結合エネルギー	【知識・技能】 反応エンタルピーについてその種類や化学反応式とエンタルピー変化での表し方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における熱の発生や吸収は，反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	K 第３節　化学反応と光 ・化学反応における光の発生や吸収は，反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。 L 第１節　電池 ・電池は，酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解させる。	光合成，光電極，光触媒，化学発光，生物発光 電池，負極，正極，負極活物質，正極活物質，起電力，ダニエル電池，放電，充電，二次電池(蓄電池)，一次電池，鉛蓄電池，燃料電池，アルカリマンガン乾電池，リチウムイオン電池	【知識・技能】 化学反応における発光や光合成のしくみをエンタルピーとの関係から理解することができる。 【思考・判断・表現】 化学反応における光の発生や吸収は，反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3学期	M 第２節　電気分解 ・外部から加えた電気エネルギーによって，電極で酸化還元反応が起こることを理解させる。また，その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について理解させる。 N 第１節　反応の速さ ・反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解させる。 O 第２節　化学反応と触媒 ・化学反応の仕組みを理解させ，反応速度を速める触媒について理解させる。	電気分解(電解)，陰極，陽極，溶融塩電解，ファラデー定数，電解精錬，陽極泥 反応速度，反応速度式（速度式），反応速度定数（速度定数），反応次数，一次反応，二次反応，半減期 活性化エネルギー，遷移状態，触媒，アレニウスの式，均一系触媒（均一触媒），不均一系触媒（不均一触媒），三元触媒，ラジカル（遊離基），連鎖反応，素反応，多段階反応，律速段階	【知識・技能】 電気分解における陽極，陰極それぞれでの反応を知り，電気分解の原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 外部から加えた電気エネルギーによって，電極で酸化還元反応が起こることを理解する。また，その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
							合計 105

年間授業計画　新様式

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　理科　　科目 地学基礎

教　科：　理科　　科　目：　地学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　3 組　・5組 ～ 8組

教科担当者：（小河原、栗原、南川）

使用教科書：（「高等学校　地学基礎」　実教出版　　）

教科　理科　　の目標：

【知識及び技能】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目　地学基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙や自然現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養っている。	宇宙や自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 活動する地球 【知識・技能】 地球の概形やプレートテクトニクスの仕組みを学び、地殻で起こる地学的現象について理解させる。 【思考・判断・表現】 地球の大きさの測定や、プレート運動と地震・火山や大地形の関係について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 1 地球の形と大きさ 2 地球の構造 3 プレートテクトニクスと地殻変動 4 プレート運動のしかた ・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・適切に位置情報や機器を利用し、地球の大きさやプレートの移動速度を求められる。 ・3種類のプレート境界と大地形や地震・火山などの地殻変動との関係がわかる。 【思考・判断・表現】 ・地球が球である証拠を理解したり、回転楕円体について考えられる。 ・大地形や地殻変動に分布を見てプレートの運動について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	B 地震と火山 【知識・技能】 地震や火山が発生するメカニズムについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ３つのプレート境界と地震・火山との関係について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 5 地震 6 地震の分布 7 地震災害 8 火山活動 9 火山がもたらす恵みと災害 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・地下構造と関連させて地震・火山が起こるメカニズムがわかる。 ・地震や火山の発生に伴って起こり得る現象や災害について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・地震の伝わり方を的確に理解し、震源決定をすることができる。 ・地震災害や火山災害について理解し、それに対する防災対策について考えられる。 ・火山の形やマグマの性質から噴火様式や火山災害を予測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2学期	C 移り変わる地球 【知識・技能】 地層や化石のでき方を理解し、地球史の成り立ちを考える。 【思考・判断・表現】 環境と生物との相互関係について理解し、生態系や地球環境の保全について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 10 堆積作用と堆積岩 11 地層の形成 12 化石と地質時代の区分 13 古生物の変遷 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・河川の作用等によって形成される地形や、堆積岩の形成過程がわかる。 ・地層や化石の形成過程を理解し、そこから推測される地球史がわかる。 ・古生物と地球環境との関わりがわかる。 【思考・判断・表現】 ・地質構造や含まれる化石から堆積した時代や環境を推測できる。 ・地表の変化のメカニズムについて理解し、起こり得る災害を予測することができる。 ・生物の変遷と地球環境との関係を理解し、地球環境の保全について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	D 大気と海洋、地球の環境 【知識・技能】 地球全体のエネルギー収支について理解し、気象現象の発生のメカニズムを考え、地球の自然環境について理解させる。 【思考・判断・表現】 天気図や衛星画像などをもとに、大気の動きや天気の変化を考え、今後の地球環境について予測する。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 14 大気の構造 15 地球全体の熱収支 16 大気の大循環 17 海水の運動 18 日本の天気と気象災害 19 気候の自然変動 20 人間活動による環境変化 21 日本の自然環境 ・教材 教科書、図表、自作プリント 各種標本、ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・大気や海洋の層構造について、それぞれの特徴と関連づけて理解できる。 ・地球のエネルギー収支と、大気・海洋の運動と関連づけて理解できる。 ・自然現象の季節変化や長期的変動をもとに、地球の自然環境について理解できる。。 【思考・判断・表現】 ・天気図や資料、データをもとに考え、天気や起こり得る現象について考えられる。。 ・気象・海洋現象のメカニズムについて理解し、起こり得る災害について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	E 太陽系と宇宙 【知識・技能】 太陽系や宇宙の階層構造について理解し、時間的・空間的な広がりを認識する。 【思考・判断・表現】 さまざまな天体の特徴を理解し、それらの形成過程や未来の姿を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 22 太陽系の天体 23 太陽 24 太陽系の誕生と現在の地球 25 宇宙の誕生 ・教材 教科書、図表、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 ・太陽系の天体の特徴と形成過程がわかる。 ・太陽の特徴と、地球への影響がわかる。 ・宇宙の階層構造を理解し、ビッグバンから始まった宇宙の歴史がわかる。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな天体の特徴から、それらの形成過程や未来の姿について考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　理科　科目 物理基礎

教　科：　理科　　科　目：　物理基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　2 学年　1・2・3・4・7・8組

教科担当者：（小河原・南川）

使用教科書：（ 啓林館　物基７０５　高等学校 物理基礎　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】　科学的調査方法を身に付ける。

科目　物理基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や環境に関する考え方を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 物体の運動 【知識・技能】 物体の運動の基本的な表し方について，直線運動を中心に理解させる。 【思考・判断・表現】 物体の変位や速度などを考えたり，x-tグラフやv-tグラフから物体の運動を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 速度 加速度 落体の運動 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の加速度や加速度運動を理解することができる。 【思考・判断・表現】 物体による速度の変化の様子に興味を持ち，その違いについて調べようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実習方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	B 力と運動 【知識・技能】 様々な力がはたらくときの物体の運動を理解させる。 【思考・判断・表現】 摩擦力や浮力，圧力など物体にはたらく様々な力と，その作用による物体の運動がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 力 運動の法則 様々な力と運動 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ，運動の様子をグラフに表すことができる。 【思考・判断・表現】 力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し，グラフを作成して運動方程式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2学期	C 仕事とエネルギー 【知識・技能】 仕事，仕事の原理，仕事率という基本的な概念から，力学的な仕事を計算する方法がわかる。 【思考・判断・表現】 仕事・仕事の原理，仕事率に関して，計算式を利用し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 保存力が仕事をするとき，物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することで，力学的エネルギーが保存されることがわかる。 【思考・判断・表現】 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することと，それらの和が一定に保たれることを，力学的エネルギー保存の法則として確認している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験観察方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	D 熱とエネルギー 波の性質 音の性質 【知識・技能】 熱による物質の変化を理解することができる。 波の性質について，直線状に伝わる場合を中心に理解させる。 弦の振動と気柱の振動などを通して，共鳴・共振のような現象が起こる原理がわかる。 【思考・判断・表現】 熱とエネルギーを関連づけて考えることができる。 波形の移動における周波数や位相について説明することができ，媒質の振動を関連づけて考えられる。 音源の振動による現象について，弦や気柱の性質と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 熱と温度 熱量 熱の利用 波の伝わり方 波の性質 音波の性質 音源の振動 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 熱から仕事への転化を，熱機関に関連づけて理解することができる。 波の性質を理解することができる。 音波と音の三要素などの性質と，可聴音や超音波についてわかる。 【思考・判断・表現】 熱運動のエネルギーと仕事を関連づけ，エネルギー変換の熱機関への応用を考えることができる。 波がエネルギーと情報を運ぶことについて考えることができる。 音波の性質と様々な音について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	E 電気と磁気 【知識・技能】 静電気と電子，電荷と電気量についてわかる。 電磁誘導と発電機のしくみについて理解させる。 【思考・判断・表現】 導体，半導体，絶縁体について説明することができ，半導体の応用技術について考えることができる。 電流と磁力を関連づけて，電磁誘導による発電機の原理を理解し，考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に工夫して取り組み、振り返りを通して自らを向上させる。	・指導事項 静電気 電流 電磁誘導と発電機 交流と電磁波 ・教材 教科書、自作プリント ICT機器、PC等	【知識・技能】 導体，絶縁体，半導体と，半導体を応用した技術についてわかるかる。 静電気と電子を関連づけ，電荷と電気量について考えることができる。 磁気と電流の種類を確認し，交流を整流に変換するしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 オームの法則と様々な抵抗の接続や合成抵抗，電流の熱作用との関係についてわかる。 電流，電圧，電気抵抗の関係について導線内の自由電子の動きと，発生する熱に関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習方法や実験方法を工夫している。 ・学習内容に関連する事柄を調べている。 ・学習を振り返り、課題を分析している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　保健体育　科目 保健

教　科：　保健体育　科　目：　保健　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1.3.8組：横山）（2.6.7組：酒井）（4.5組：柳澤）

使用教科書：（ 現代高等保健体育　大修館書店 ）

教科　保健体育　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 自他や社会の課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，現代社会と健康について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 疾病等のリスクの軽減，生活の質の向上，健康を支える環境づくりなどと，解決方法を関連付けて考え，適切な方法を選択し，それらを説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 個人及び社会生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考・判断し，総合的に捉えることができる。

科目　保健　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自他の健康課題を把握できている。 ・課題解決の方法を実践できる技能が定着している。 ・疾病予防の知識が理解できている。	・疾病のリスク軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりについて科学的に思考・判断し総合的にとらえることができる	・個人の課題のみならず社会全体の課題としてとらえる視野を養えている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元『生涯を通じる健康』 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し理解を深め、その解決を目指した活動を身に付けることができる。	オリエンテーション ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	【知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2学期	B 単元『生涯を通じる健康』 『健康を支える環境づくり』 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し理解を深め、その解決を目指した活動を身に付けることができる。	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 大気汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生に関わる活動	知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	C 単元『健康を支える環境づくり』	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	知識及び技能】 我が国の健康問題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の健康課題など、理解したことを整理し、道筋を立てて説明したり、ノートなどに記述したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の健康問題について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 35

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　保健体育　科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1・2組：鎌田・柳澤・横山）（3・4組：鎌田・柳澤・横山）（5・6組：小林・柳澤・横山）（7・8組：小林・柳澤・横山）

使用教科書：（「現代高等保健体育」　大修館書店　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養えている。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養えている。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養えている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　体ほぐし ・オリエンテーション ・体力を総合的に高める運動および今後のスポーツの基礎となる走・跳・投の各運動を行う。	・ストレッチング ・スタートダッシュ ・各種跳躍運動 ・ハンドボール投げ ・体重を使った筋力トレーニング（腕立て伏せ等）	【知識・技能】 各種の動作を行い、体の調子に気付いたり関わりあったりできた。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	B　バドミントン（男子）	・ストローク ・クリア ・ドライブ ・サービス ・ヘアピン ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	12
	C　卓球（男女）	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	D　テニス（男女）	・ストローク ・ボレー ・サービス ・ラリー ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	E　ソフトボール（女子）	・キャッチ ・スロー ・トスバッティング ・フィールディング ・ピッチング ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたバット・グラブ操作や安定した用具の操作と連動した動きによって、打つ、捕る、投げる、走るを実施し、攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の活動を振り返り、課題解決や安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きやフェアプレイを大切にし、危険予測をしながら回避行動をとるなどを主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	F　水泳 クロール、平泳ぎのキック、ストローク、コンビネーションを再確認する。	・水中歩行 ・バタ足 ・クロールのストローク ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることができた。	○	○	○	9
2学期	水泳 平泳ぎ・背泳のキック、ストローク、コンビネーションを再確認する。	・水中歩行 ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・背泳のキック ・背泳のストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足のバランスを保ち、長く又は速く泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 選択した泳法において、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることができた。	○	○	○	9
	G　バドミントン（女子）	・ストローク ・クリア ・ドライブ ・サービス ・ヘアピン ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	12
	H　卓球（男女）	・ストローク ・ドライブ、カット ・サービス ・ラリー ・スマッシュ ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができる。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	I　テニス（男女）	・ストローク ・ボレー ・サービス ・ラリー ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連動した動きによって空間を作り出すなどの攻防が出来る。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
	J　ソフトボール（男子）	・キャッチ ・スロー ・トスバッティング ・フィールディング ・ピッチング ・簡易ゲーム	【知識・技能】 状況に応じたバット・グラブ操作や安定した用具の操作と連動した動きによって、打つ、捕る、投げる、走るを実施し、攻防が出来る。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の活動を振り返り、課題解決や安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きやフェアプレイを大切にし、危険予測をしながら回避行動をとるなどを主体的に取り組もうとした。	○	○	○	
3学期	K　持久走 自己の心肺能力を知り、長い時間、長い距離を自分に適したペースで走り続けられるようになる。	・正しいランニングフォームの習得 ・適切な腕振りと呼吸法 ・1500m/2000mのペース走 ・1500m/2000mの計測 ・シャトルラン	【知識・技能】 効率よく走る姿勢と接地について理解でき、腕振りと呼吸について理解できる。 【思考・判断・表現】 適切なペース配分を知り、自己の持久力を評価できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 毎時間の記録目標の設定が適切にできた。パートナーとの相互評価を実施できた。単元終了後の振り返りを適切にできた。	○	○	○	12
	L　サッカー/バスケットボール（球技大会種目の練習）	・ルール/競技方法の確認 ・基本的技能の復習 ・対人技能/集団技能の復習 ・ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度などを配慮して仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫する事ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間への助言することで信頼関係を深め、互いに高めあうことができた。	○	○	○	10
							合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　2 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：　（　全クラス：島田　）

使用教科書：　（　「高校生の音楽①」　教育芸術社　　）

教科　音楽　　の目標：

【知識及び技能】　芸術を表現したり鑑賞したりする際に必要な知識を習得するとともに、多様な作品についてそれぞれの思いや意図に基づいた表現が出来るための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な様式の音楽作品について理解を深める。 ・音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を養う。 ・読譜能力を高め、音楽理論について理解する。	・感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値観等を考えたりする。	・音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。 ・我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを一層味わえる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　独唱 【知識及び技能】 メロディーと歌詞の関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に興味を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組む。	①校歌 ②おおシャンゼリゼ ③野ばら	○			○	【知識及び技能】 メロディーと歌詞の関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に興味を持ち、主体的。協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B　ボディ・パーカッション・アンサンブル 【知識及び技能】 自分なりの創意工夫をもって音符や表現記号を生かした音楽づくりをする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 曲の構造を理解し、グループ内で意見交換しながら音楽表現を追究し、よさや美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲との音楽的な調和、曲にふさわしい表現に興味を持ち、主体的・協働的にアンサンブルに取り組む。	①ビートカノン		○		○	【知識及び技能】 自分なりの創意工夫をもって音符や表現記号を生かした音楽づくりをする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 曲の構造を理解し、グループ内で意見交換しながら音楽表現を追究し、よさや美しさを味わおうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲との音楽的な調和、曲にふさわしい表現に興味を持ち、主体的・協働的にアンサンブルに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	C　アルトリコーダー 【知識及び技能】 リコーダーの基礎的な技能を身に付け、曲想を活かすための技法の効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成や諸技法の音楽的効果を考えながら表現を工夫するとともに、表現の中で学んだ諸技法とその効果に注意しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想を生かした技法や楽器の特性との関わりに関心をもち、主体的に表現や鑑賞に取り組むとともに、リコーダーの音色の美しさを味わう。	①基礎練習曲 ②カノン ③野ばら		○		○	【知識及び技能】 リコーダーの基本的な構造、曲想とリコーダーの基本的な奏法との関わりを理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響きを知覚しそれらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 リコーダーに興味を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	D　世界の歌、日本の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴を捉えた発音などの技能を身に付け、さらに自分なりの創意工夫を生かした歌唱表現を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 曲の背景を理解し、旋律や菓子と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するのか表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 言語に興味を持ち、楽曲の世界観を主体的・協働的に表現すべく歌唱活動に取り組む。	①O sole mio ②茉莉花 ③島人ぬ宝 ④この道	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴を捉えた発音などの技能を身に付け、さらに自分なりの創意工夫を生かした歌唱表現を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 曲の背景を理解し、旋律や菓子と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するのか表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 言語に興味を持ち、楽曲の世界観を主体的・協働的に表現すべく歌唱活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	E　アルトリコーダーアンサンブル 【知識及び技能】 お互いの音を聴きあいながら演奏するアンサンブル能力を身に付ける。パートナーソングについてその構造を理解する。 英語音名による読譜に慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成による音楽的効果を考えながら表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組む姿勢を養う。	①基礎練習曲 ②パートナーソング２重奏 ③小さな世界		○		○	【知識及び技能】 楽譜の仕組みを理解し、英語音名で楽譜を読むことができる。パートナーソングの音楽的構造について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 音色を知覚し、リコーダー特有の響きを感受しながら美しさを味わおうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 読譜やポリフォニー音楽に興味を持ち、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	F　ハンドベル 【知識及び技能】 旋律および曲想、伴奏の関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響き、および様々な音型を知覚し、それらの働きを感受しながら、旋律との関わりにも着目し、どのように曲想を表現するのか、表現意図を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律、曲想、旋律から感じた雰囲気を自分なりに多角的に知覚し、ハンドベルアンサンブルに興味をもって主体的・協働的に活動に取り組む。	①いつも何度でも		○	○	○	【知識及び技能】 旋律および曲想、伴奏の関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色や和音の響き、および様々な音型を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように曲想を表現するのか、表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 旋律、曲想、旋律から感じた雰囲気を自分なりに多角的に知覚し、ハンドベルアンサンブルに興味をもって主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	G　ミュージカル表現 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わり、登場人物の歌う様々なナンバーの表現形態の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、登場人物の心情を捉えてイメージをもって歌唱表現に創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ミュージカルに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	①アラジンより「ホールニューワールド」		○		○	【知識・技能】 曲想と物語の特徴と登場人物との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために楽曲にふさわしい発声・発音などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、その働きを感受し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、物語の登場人物のイメージをもって歌唱表現に創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ミュージカルに興味・関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	H　ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての証言方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 リズムと旋律の動きを知覚して、それらの働きを感受し、音楽の美しさや特徴を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組んでいる。	①ミュージカル映画 「オペラ座の怪人」				○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての証言方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力】 リズムと旋律の動きを知覚して、それらの働きを感受し、音楽の美しさや特徴を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
										合計	70

年間授業計画　様式例

足立　高等学校 令和７年度 （２学年用） 教科　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（１・２組：大橋）（３組：大橋）　（４組：笠原）　（５・６組：大橋）（７・８組：笠原）

使用教科書：（ 美術１（光村図書出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、美術の能力の向上を図り、美術の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術の伝統と文化に対する見方や感じ方を深める。	美術や美術工芸文化に関心を持ち、観察を通した感動・感受を大切にし、主体的に学び考え表現する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	美術Ⅰ授業の注意 A レタリングの練習 【知識及び技能】 授業での約束事や注意点、年間の予定を理解する。レタリングの基本となる明朝体、ゴシック体の特性や技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 枠内にバランス良く配置し美しく描けるよう模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 一字一字を美しく丁寧に描けるよう主体的に取り組む。	・座席決め。 ・授業時の決まりと授業計画、注意点を理解する。 ・レタリングの基本を理解する。 ・枠と中心線を設定し、骨組みを描き、バランス良く肉付けする。 ・中を丁寧に黒く塗り仕上げる。 （教材）鉛筆、ケント紙、墨汁		○		○	【知識及び技能】 ・レタリングの基本を理解し美しい文字が描けたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各字体の特徴を体得し、表現できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バランス良く美しい文字を描くために粘り強く試行錯誤し取り組んだか。	○	○	○	4
	B 伝わるポスターの制作 【知識及び技能】 一瞬で注意を引き、振り向かせることができるのはどんなポスターなのかを考え、参考作品などを基に標語と文字、構図、色彩等制作する上での大切な要素を理解し、伝えたいイメージを具現化する。 【思考力、判断力、表現力等】 「選挙」についてのいろいろな課題を考察し伝えたい内容を明確にする。盗作とパロディについて考察し、各自の個性豊かで効果的に伝わる表現を模索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ポスターを構成する要素を読み解きながら、その特性を活かした表現活動に主体的に取り組む。	・様々なポスターを鑑賞しその役割や効果などを理解する。 ・選挙に関して伝えたい事柄は何か、各種資料なども参考にしながら内容を明確にしていく。　・簡単なアイデアケッチを描きながら構想を膨らませる。 ・主題に沿った「伝わる」標語も同時に練っていく。 ・文字と図案の構図を工夫する。 ・バランスを見ながらレタリングする文字の配置を決めていく。 ・配色計画を立て、塗っていく面積を考慮しながら絵の具を混色し、丁寧に塗っていく。 ・美しく目を引き「伝わる」仕上がりを目指す。　（教材）アクリルガッシュセット、四つ切ケント紙		○		○	【知識及び技能】 ・伝えたいイメージを的確に美しく画面上に表現できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会情勢に目を向けて感じ取ったことや考えたことから伝えたい主題を吟味し、自分の発想を広げることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より「伝わる」画面や標語を表現するために粘り強く試行錯誤を重ねることができたか。	○	○	○	22
2学期	C 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 鉛筆の使い方や構図、形、明暗、質感等デッサンの基本を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 描く対象を観察し、画面上にどう描き出すか考え工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に描写し対象物に近付くように取り組む。	・鉛筆の硬度や描写方法を理解する。 ・練習としてA4ワークシート上の長方形（中を６分割する）２つに、それぞれ違う技法で明暗階調を作成する。 ・画用紙の画面上で瓶が机に置かれている状況やそのものの大きさが伝わるような構図を考える。　・形やバランスを観察、輪郭だけではなく中側の形や光と影（陰）を意識する。　・立体感や質感が出てくるように工夫する。	○			○	【知識及び技能】 ・描画材としての鉛筆の特徴を理解し、表現する力を高められたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・制作手順を理解し描写方法に応じて適切な描画材を選んで、より良い表現を追求するために試行錯誤を重ねることができたか。　【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲的に取り組み、描写する対象の特徴や美しさを捉えようとしたか。	○	○	○	6
	D 木で作る暮らしの中の道具 【知識及び技能】 生活の中で使われている道具に目を向けそれらが持つ機能、使う場面や人の身体的特徴などを基に形や大きさの基準があることを理解する。木という素材の特徴、用途と制作工程を理解する。　【思考力、判断力、表現力等】 使用する上での機能や材料の性質等を配慮しながら日常が少し楽しくなるようなデザインを模索する。適切な工具を選び、工夫して制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 安全に効果的に工具を使用し、目的や意図にあった作品の制作に取り組む。	・身近にある様々な道具の形や大きさに目を向け、その機能や特徴との関係について考える。　・木という素材の持つ特性を活かし、制作可能な使いやすく魅力的で愛着の湧くデザインを考察する。 ・アイデアスケッチを重ねて制作する道具の構想を深める。 ・仕上がり想定図から、正面図、側面図、上面図を起こし、木材の使用計画を立てる。 ・電動糸鋸及び手引き鋸、自在クランプ、彫刻刀、棒やすりや紙やすり等の工具の正しい使い方の理解と木工木彫技法の習得。 ・イメージした仕上がりになったか、手触りや強度など、実際に使ってみて振り返る。 （教材）シナベニヤ材等の木材	○	○		○	【知識及び技能】 ・日常使用している道具の性質や特徴について理解できたか。木工、木彫の技法について学び、その制作方法が正しく身に付いたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用途を考えるとともに自己の表現を模索し、創意工夫して制作することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に感じ取ったことや考えたことを基にして制作活動に取り組もうとしているか。	○	○	○	24
3学期	E ペンで表すモノクロームの世界 【知識及び技能】 鉛筆の描写とは違うペンによる白黒の表現技法を習得する。白黒による表現の多様性を理解する。　【思考力、判断力、表現力等】 形の省略や強調を考え、立体感や空間を工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ペンの扱いを工夫し粘り強く制作に取り組む。	・線や点を重ねたり、余白を活かして画面を構成するペン画ならではの技法を理解する。 ・どのような情景や主題をどのように表現するのか試行錯誤し、画面を構成していく。 ・丁寧に線や点を重ねていき、密度のある画面に仕上げる。 （教材）ピグマペン、A4ケント紙	○			○	【知識及び技能】 ・ペンの扱い方を習得し、効果的に使えているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・白と黒という制約の中で自由に発想し構想を練り、ペンの使い方を工夫し、独自の表現ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に興味を持ち、粘り強く取り組んだか。	○	○	○	14 合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（　全クラス：田中　）

使用教科書：（ 書道Ⅰ　東京書籍　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術の創造的な表現をするために必要な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】感性や想像力を働かせて、構想を練り工夫して表現する。

【学びに向かう力、人間性等】創造活動の喜びを味わい、芸術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組む。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元；書写で学んできたこと 【知識及び技能】 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 反復練習から清書の完成度が高まることを理解し、集中力や継続力を養う。	書写内容の復習 基本点画の復習	○			○	【知識・技能】 漢字と仮名の調和した線質や字形など基本点画の表現を捉えている。 【思考・判断力・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	2
	B 単元；篆書の特徴 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	篆書の学習 泰山刻石		○		○	【知識・技能】 泰山刻石に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・線の太さが一定　・縦長の字形で左右対称 ・起筆は蔵法　・連なる線の間は等間隔 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	2
	C 単元；隷書の特徴 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	隷書の学習 曹全碑		○		○	【知識・技能】 曹全碑に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・扁平な字形　・滑らかな波磔 ・起筆は蔵法　・丸みを帯びた点画 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	4
	D 単元；牛橛造像記 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	楷書の学習 牛橛造像記		○		○	【知識・技能】 牛橛造像記に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・肉太な運筆・鋭角的な三角形・右肩上がりの強い構成 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	8
	E 単元；九成宮醴泉銘 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	楷書の学習 九成宮醴泉銘		○		○	【知識・技能】 九成宮醴泉銘に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・鋭い起筆と直線的な点画　・縦長で、背勢の字形 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	8

2学期	F 単元；楷書の特徴 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	楷書の学習 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 自書告身		○		○	【知識・技能】 各書風に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 孔子廟堂碑 ・自然な点画 ・縦長で向勢気味の字形 雁塔聖教序 ・抑揚ある用筆 ・方形で懐の広い構成 自書告身 ・起筆が蔵鋒で太い ・特徴的右払い 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	G 単元；風信帖 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	行書の学習 蘭亭序		○		○	【知識・技能】 蘭亭序に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・線の抑揚 ・曲線的な字形 ・立体感と多彩な表現 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	12
	H 単元；蘭亭序 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	行書の学習 風信帖		○		○	【知識・技能】 蘭亭序に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・線の抑揚 ・縦長、右上がりの字形 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	12
3学期	I 単元；高野切第三種の臨書 【知識及び技能】 線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己添削を通して古典の特徴を考えて臨書する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の意図に基づいた表現について構想し、工夫する。	仮名の学習 高野切第三種			○	○	【知識・技能】 高野切第三種に基づく用筆や運筆、字形や構成を活かした表現を身に付けている。 ・多彩な連綿 ・単純明快な字形と伸びやかな線質 【思考・判断・表現】 補助教材の添削のポイントを基に自ら添削をし、改善すべき点を考察して清書に反映させている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・改善すべき点を意欲的に解決しようとしている。 ・授業時に反復練習し、清書の完成度を高めている。	○	○	○	14
											合計 70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科　外国語　科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数　4　　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1・3・6組：大坪）（2・5・7組：平田）（ 4・8組：　成田 ）

使用教科書：（「Power on English CommunicationⅡ」東京書籍　　）

教科　外国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語でコミュニケーション及び表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な出来事を、基本的な語句を用いて伝え合う技能を身につける。会話している相手の言う内容も正確に理解する力を養う。	身につけた知識・技能を活用し、身近な出来事や自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように表現する力を養う。 相手からの質問を正確に理解し適切に答える力を養う。	自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとする力を養う。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相槌をうちながら、聞き返したりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A Lesson 1 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ ストリートピアノについてのテレビレポート ［言語材料］ 助動詞＋動詞の原形，受け身，S＋V［be 動詞以外］＋C ［言語の働き］ 説明する，報告する，紹介する，発表する	○		○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	B Lesson 2 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。 ［言語材料］ S＋V＋O＋C［形容詞］，S＋V［使役］＋O＋C［原形不定詞］，S＋V［知覚］＋O＋C［現在分詞，原形不定詞］ ［言語の働き］ 説明する，理由を述べる，紹介する，発表する		○		○		【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	C Lesson 3 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビュー ［言語材料］ 現在完了形，過去完了形，仮定法過去のif 節 ［言語の働き］ 質問する，説明する，紹介する，感謝する	○		○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14

	D Lesson 4 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 日本の自動販売機，海外の自動販売機についてのオンライン記事 ［言語材料］ 関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格） ［言語の働き］ 説明する，紹介する，意見を述べる，発表する，質問する		○		○	○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
2学期	E Lesson 5 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ ユニバーサルデザインのフォント，ブレイルノイエとその開発者の高橋鴻介氏へのインタビューについての雑誌記事 ［言語材料］ 助動詞＋受け身，S＋V＋C［分詞］，S＋V＋O［if節］，It seems［appears］＋that節 ［言語の働き］ 質問する，説明する，例示する，提案する，発表する	○		○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	F Lesson 6 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事 ［言語材料］ It＋is［was］＋said＋that 節，形式目的語itとthat 節，形式目的語itとto 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞 ［言語の働き］ 説明する，意見を述べる，賛成する，反対する，理由を述べる，発表する，質問する		○		○	○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	G Lesson 7 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文 ［言語材料］ 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，　前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法 ［言語の働き］ 説明する，提案する，理由を述べる，意見を述べる，質問する	○		○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14

	H Lesson 8 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文 ［言語材料］ 強調構文，強調の助動詞do，直前の文を先行詞とする関係代名詞which，to＋have＋過去分詞 ［言語の働き］ 説明する，紹介する，描写する，注意をひく，勧める		○		○	○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査		○	○			○		○	○		1
3学期	I Lesson 9 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記 ［言語材料］ 譲歩を表す副詞節，no matter how ［where，when］（※要修正反映），仮定法過去完了，分詞構文（過去分詞） ［言語の働き］ 質問する，説明する，理由を述べる	○		○		○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	12
	J Lesson 10 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとする態度を育む。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度を育む。	［題材内容］ 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 ［言語材料］ 過去完了進行形，be＋to 不定詞，未来完了形，insist など＋that＋S＋V［動詞の原形］ ［言語の働き］ 説明する，発表する，提案する，予想する，意見を述べる，理由を述べる		○		○	○	【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や，言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとする態度が見られる。	○	○	○	11
	定期考査		○	○			○		○	○		1
											合計	
											140	

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　外国語(英語)　科目 論理・表現Ⅱ

教　科：　外国語(英語)　　科　目：　論理・表現Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1～8　組

教科担当者：（１・２組：成田・大坪・松本）（３・４組：成田・大坪・松本）（５・６組：成田・田村・松本）（７・８組：成田・田村・松本）

使用教科書：（「Harmony English Logic and Expression Ⅱ」いいずな書店　　）

教科　外国語(英語)　　の目標：

【知識及び技能】英語によるコミュニケーション及び表現活動を行うための基礎となる文法知識やスキルを育成する。

【思考力、判断力、表現力等】文法を使った表現活動を行うために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】異文化や外国語に対する興味関心を高め、国際社会に役立つ人間性を育む。

科目　論理・表現Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
4技能を活用した英語によるコミュニケーションを行うための基礎となる知識やスキルを育成する。	情報を整理し、目的や場面、状況に応じて、論理的に適切な英語で表現できる力を身に付ける。	様々な人とペアワークを行うことで、多様性への享受力を高めていくとともに、協働的に学びを進められる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[やり]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson 1・11 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・現在、過去、未来形 ・比較を用いた表現 上記の文法項目について、副教材「Engage」、「All-in-One 別冊」で演習する。 考査課題（自習課題）として「All-in-One」に取り組む。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	10
	定期考査											1
	Lesson 2・4・12 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・現在・過去完了を用いた表現 ・受け身を用いた表現 ・仮定法を用いた表現 上記の文法項目について、副教材「Engage」、「All-in-One 別冊」で演習する。 考査課題（自習課題）として「All-in-One」に取り組む。	○	○		○	○	【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査											1
2学期	Lesson 5・6・7 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・不定詞を用いた表現 ・不定詞を用いた表現 ・動名詞を用いた表現 上記の文法項目について、副教材「Engage」、「All-in-One 別冊」で演習する。 考査課題（自習課題）として「All-in-One」に取り組む。	○	○	○		○	【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	13
	定期考査											1
	Lesson 8・9・10 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・分詞を用いた表現 ・関係代名詞を用いた表現 ・関係副詞を用いた表現 上記の文法項目について、副教材「Engage」、「All-in-One 別冊」で演習する。 考査課題（自習課題）として「All-in-One」に取り組む。	○	○		○	○	【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査											1
3学期	Lesson 13・14・15 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えられるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度を育む。	・様々な否定や疑問を表現する方法 ・直接・関節話法を用いた表現 ・様々な構文を用いた表現 上記の文法項目について、副教材「Engage」、「All-in-One 別冊」で演習する。 考査課題（自習課題）として「All-in-One」に取り組む。	○	○		○	○	【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようする態度が見られる。	○	○	○	14
	定期考査											1
											合計	70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　家庭　科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1組～8組：倉本直子、宍戸光世）

使用教科書：（ 家庭基礎　気づく力　築く未来　　実教出版　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して生活の中から問題を見出して課題を解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】様ざまな人々と協働し地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 自分らしい生き方と家族 ライフステージごとの特徴・課題、人生設計に必要な要素を理解し、自分の将来とこれからの社会について考える。	・これからの人生をデザインする ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を通して生活課題に対し意思決定していくことの重要性について理解を深めている。 〔思考・判断・表現〕 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、自己の意思決定に基づき責任もって行動することについて、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 生涯の生活設計や青年期の課題について主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	5
	B 衣生活をつくる ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料などについて理解し、健康で快適な衣生活に必要な知識と技能を習得する。	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・衣服の構造、デザイン ・被服製作実習（エプロン） 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 被服の機能と着装、被服材料、被服構成及び被服衛生を理解し、ライフステージや目的に応じた選択ができる。また、計画的な被服の購入と管理に必要な技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 被服の機能性や快適性について考察するとともに安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫できる。 〔主体的学習に取り組む態度〕 衣生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	C 子どもとかかわる 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援についての知識および乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を習得する。	・子どもとは ・子どもの発達 ・子ども生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉 ・製作実習（絵本） 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援についての知識および乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 子どもを生み育てることの意義について考えることができ、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の課題を解決しようとする力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 子供の健やかな成長のための課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
	D ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	・ホームプロジェクトとは ・ホームプロジェクトの計画と実践 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ホームプロジェクトの活動意義と実施方法について理解している。 〔思考・判断・表現〕 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 生活上の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		○	○	1
	定期考査			○	○		1

2学期	E　ホームプロジェクト 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	・ホームプロジェクトの実践報告 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ホームプロジェクトの活動意義と実施方法について理解している。 〔思考・判断・表現〕 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、課題を設定し、解決策を構想し、実践・考察するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 生活上の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		○	○	2
	F　食生活をつくる 栄養の特徴や食品の栄養的特徴、食の安全、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な知識と技能を習得する。	・にほんの食文化の形成 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・調理実習 ・これからの食生活を考える 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、食品の調理上の特性、食品衛生をふまえ、自己や家族の食生活の計画・管理及び調理に必要な技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 自己や家族の食事を工夫できるとともに、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を営む力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 食生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	G　高齢者とかかわる 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護についての知識及び生活支援に関する基礎的な技能を習得する。	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者の自立を支える ・高齢社会を支えるしくみ 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護についての知識及び生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性についての課題を解決しようとする力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 高齢者の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	H　社会とかかわる 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援についての知識を習得する。	・支え合って生きる ・共生社会を生きる 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 〔思考・判断・表現〕 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支えあって生活することの重要性を認識し、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察できる。 〔主体的学習に取り組む態度〕 共生社会の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
	I　住生活をつくる ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を習得する。	・人間と住まい ・住まいの文化 ・住まいを計画する（実習含む） ・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ライフステージに応じた住生活の特徴、防犯などの安全や環境に配慮した住居の機能ついて理解し、適切な住居の計画・管理に必要な知識や技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫できる。 〔主体的学習に取り組む態度〕 住生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

3学期	J　食生活をつくる 栄養の特徴や食品の栄養的特徴、食の安全、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な知識と技能を習得する。	・にほんの食文化の形成 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・調理実習 ・これからの食生活を考える 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、食品の調理上の特性、食品衛生をふまえ、自己や家族の食生活の計画・管理及び調理に必要な技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 自己や家族の食事を工夫できるとともに、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を営む力を身に付けている。 〔主体的学習に取り組む態度〕 食生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	9
	K　消費行動を考える 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組み、持続可能は消費について理解し、自立した消費者として行動できるようにする。	・人間と住まい ・住まいの文化 ・住まいを計画する（実習含む） ・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 ライフステージに応じた住生活の特徴、防犯などの安全や環境に配慮した住居の機能ついて理解し、適切な住居の計画・管理に必要な知識や技能を身に付けている。 〔思考・判断・表現〕 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫できる。 〔主体的学習に取り組む態度〕 住生活の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	L　経済的に自立する 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理を理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を理解する。	・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング 〔教材〕 プリント等	〔知識・技能〕 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解している。 〔思考・判断・表現〕 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を認識し、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察できる。 〔主体的学習に取り組む態度〕 生活における経済の課題などに主体的に取り組み、自分や家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　新様式

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：総合的な探究の時間　　科　目：総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　8 組

教科担当者：（１組：大坪）（２組：北川）（３組：佐藤）（４組：増田）（５組：柳澤）（６組：沼田）（７組：倉本）（８組：成田）

使用教科書：（ 東京都教育委員会「人間と社会」　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：自分及び他者、そして社会を客観的に見つめ、分析し、判断・理解できる能力を育成する。

【知識及び技能】探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自分で課題を立て，情報を集め，まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題にかかわる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。□ □	自身の進路に関する学問の問いを見出し，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに，お互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自身の進路に関連した学問の探究活動を行うため，自分の興味・関心のある学問を探る。 【知識及び技能】 ・自身の進路に関連した学問，知識と理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の進路に関連した学問に関する情報を収集するとともに，自己の関心や適性を分析し，まとめ・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・探究テーマについて主体的に考え発表するとともに，他者の発表を聞き，協働的な学びを行う態度を養う。	・自身の興味のある学問分野は何か？（探求辞典・分野別説明会） ・探究テーマ設定のための自主活動（マンダラート等）	【知識及び技能】 ・自身の興味のある学問分野について，知識と理解を深められている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味のある学問分野について情報を収集するとともに，自己の関心や適性を分析し，まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・探究テーマについて主体的に考え発表するとともに，他者の発表を聞き，協働的な学びを行う態度を身に付けている。	○	○	○	12
2学期	自身の興味のある学問分野に関連した探究活動を行い，発表する。 【知識及び技能】 ・自身の興味のある学問分野について探究し，設定したテーマについて知識や理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味のある学問分野に関連した問いを見出し，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の興味のある学問分野に関連する探究に主体的・協働的に取り組むとともに，新たな価値を創造し，	・探究活動＆プレゼン作成 ・探究クラス内発表 →クラスごとに一グループずつ探究成果をプレゼンする。	【知識及び技能】 ・自身の興味のある学問分野について探究し，設定したテーマについて知識や理解を深められている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味のある学問分野に関連した問いを見出し，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の興味のある学問分野に関連する探究に主体的・協働的に取り組むとともに，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	13
3学期	自身の興味のある学問分野に関連した探究活動を行い，発表する。 【知識及び技能】 ・自身の興味のある学問分野について探究し，設定したテーマについて知識や理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味のある学問分野に関連した問いを見出し，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の興味のある学問分野に関連する探究に主体的・協働的に取り組むとともに，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・代表者発表を通じ，その他生徒も探究した内容の振り返りと改善を行う。	【知識及び技能】 ・自身の興味のある学問分野について探究し，設定したテーマについて知識や理解を深められている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味のある学問分野に関連した問いを見出し，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自身の興味のある学問分野に関連する探究に主体的・協働的に取り組むとともに，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しよう	○	○	○	10
						合計	35